

病院機能の変更に係る整備計画報告書

- 1 病院名：社会医療法人至仁会 圏央所沢病院
- 2 所在地：埼玉県所沢市東狭山ヶ丘 4-2692-1
- 3 開設者：社会医療法人至仁会 理事長 吉川哲夫
- 4 病床数（資料 7-2 別紙 参照）
 変更前：242 床（一般病床 157 床、療養病床 85 床）
 医療機能別内訳：高度急性期 12 床、急性期 96 床、回復期 94 床（回復期リハ 49 床、地域包括ケア 26 床、在宅療養後方支援 19 床）、慢性期 40 床

 変更後：242 床（一般病床 164 床、療養病床 78 床）
 医療機能別内訳：高度急性期 12 床、急性期 100 床、回復期 109 床（回復期リハ 52 床、地域包括ケア 38 床、在宅療養後方支援 19 床）、慢性期 21 床

5 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月	
1	開設（変更）許可（医療法）	令和 2 年 4 月	
2	建築（着工）	済	
3	建築（竣工）	済	
4	医療従事者の確保		
5	使用許可（医療法）	（病床機能変更）	令和 2 年 4 月
		（増床）	令和 2 年 10 月
6	開設	（病床機能変更）	令和 2 年 4 月
		（増床）	令和 2 年 10 月

6 整備方針、目標

今回の報告は、昨年の公募による病床整備計画時にご説明した病床機能の変更を行うものです。

ただし、増床により新たに整備する病床については、機能の変更は行いません。

(1) 当初想定していた増床後の病院全体の機能

- ・公募による増床及び日生病院の病床移設で 242 床となり、下記のような機能を計画していました。

病床種別	医療機能		病床数 (床)	機能
一般病床 (157床)	高度急性期		12	脳神経外科患者の高度急性期治療のための機能。
	急性期		96	脳神経外科、整形外科を中心とした急性期治療のための機能。
	回復期	回復期リハ	49	回復期リハビリテーション病棟のための機能。
療養病床 (85床)	回復期	地域包括ケア	26 【増床分】	高度急性期病院からのポストアキュート患者の受け入れのための機能。
	回復期	在宅療養後方支援	19 【増床分】	・地域包括ケア病床から、入院期間が長期化する患者の転床先としての機能。 ・在宅療養患者等のサブアキュート患者の受け入れのための機能。
	慢性期	療養	40	透析患者のための病床としての機能。
合計			242	

(2) 今回の変更を行う理由

今般、増床分の病床整備を行う過程で関東信越厚生局から、下記 2 つの指導を受けました。

I. 同一フロア内に療養病棟と地域包括ケア病棟を混在させることはできない。

当初、新棟 4 階に今回増床する「地域包括ケア病棟 (26 床)」と「療養病棟 (19 床)」を混在させる計画でした。

しかし、関東厚生局からの指導により、同一フロアに異なる機能の病棟を混在させることができないことが判明しました。

II. 一方、病室単位で設置が可能な地域包括ケア病床にもできない。

「地域包括ケア病床」としての算定を行えば同一フロアに混在が可能です。

ただし、今回の増床により当院の全体病床数が 242 床となり、「地域包括ケア病床」の算定ができません。(200 床以上の病院は地域包括ケア病床の算定ができません。)

以上 2 つの理由により、新棟 4 階に今回増床する「地域包括ケア病棟」と「療養病棟」が混在させることができないことが判明し、病院全体の病床機能を再構成する必要が生じました。

(3) 今回の変更内容

変更前				変更後				
一般病床 (157床)	高度急性期		12床	一般病床 (164床)	高度急性期		12床	
	急性期		96床		急性期		100床	+4
	回復期		49床		回復期		52床	+3
療養病床 (85床)	回復期	地域包括ケア	26床	療養病床 (78床)	回復期	地域包括ケア	38床	+12
	回復期	在宅療養後方支援	19床		回復期	在宅療養後方支援	19床	
	慢性期	療養	40床		慢性期	療養	21床	△19
合計			242床	合計			242床	

変更後の病床内訳

病床種別	医療機能		病床数 (床)	機能
一般病床 (157床)	高度急性期		12	脳神経外科患者のための高度急性期治療のための機能。
	急性期		100	脳神経外科、整形外科を中心とした急性期治療のための機能。
	回復期	回復期リハ	52	回復期リハビリテーション病棟のための機能。
療養病床 (78床)	回復期	地域包括ケア	38 【内26床、増床分】	高度急性期病院からのポストアキュート患者の受け入れのための機能。
	回復期	在宅療養後方支援	19 【増床分】	・地域包括ケア病床から、入院期間が長期化する患者の転床先としての機能。 ・在宅療養患者等のサブアキュート患者の受け入れのための機能。
	慢性期	療養	21	透析患者のための病床としての機能。
合計			242	

- ・今回の変更により、地域包括ケア病棟についての機能は当初の予定より変更ありません。さらに、当初の予定よりも12床が増床するため、機能は強化されます。地域包括ケア病棟からの受け皿としての、療養病床19床についても変更後もその機能を維持します。

- ・既存の透析患者用の療養病床に関しては、病床数が19床減少します。

当院の療養病床の実績		
入院期間 60 日以上	114 名	62%
” 60 日未満	70 名	38%

現在当院の療養病床の平均在院日数は139日ですが、その内38%は60日未満の比較短期入院の患者です。これらの患者の一部を一般病床（今回4床増床）や回復期リハビリテーション病棟（今回3床増床）、および今回12床増床する地域包括ケア病棟等で受け入れることより、透析患者についても当初予定していた変更前の機能維持は可能と考えております。

7 変更前の病院機能の概要（当初想定していた病院機能）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
SCU 病棟	12 床	高度急性期	9.3 日	94%
	一般	入院基本料・特定入院料	脳卒中ケアユニット	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
急性期病棟	96 床	急性期	14.6 日	93%
	一般	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
回復期リハビリテーション病棟	49 床	回復期	44.7 日	100%
	一般	入院基本料・特定入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
地域包括ケア病棟	26 床	回復期	26 日	90%
	療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア病棟入院料 2	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
在宅療養後方支援病棟	19 床	回復期	150 日	100%
	療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
慢性期病床	40 床	慢性期	150 日	100%
	療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
診療科目				
脳神経外科、内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、形成外科、美容外科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、呼吸器内科、麻酔科、眼科、透析外科				
診療実績				
これまで当該地域独自の「脳卒中ネットワーク」と「心筋梗塞ネットワーク」の立ち				

上げに積極的に携わってきました。また、埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク（SSN）の基幹病院にもなっています。

患者の受入状況

地域包括ケア病床 【申請病床数：26床】

「前提条件」

各提携医療機関からの受け入れ患者数予定： 365名 …①

想定平均在院期間： 26日 …②

「必要病床数」

対象延べ入院患者数（①×②）： 9,490名 …③

「必要病床数」（③÷365）： 26床

療養病床 【申請病床数：19床】

対象患者数： 40名 …①

想定平均在院期間： 200日 …②

「必要病床数」（②÷365）： 21床

医療（介護）連携見込み

受入れ予定メイン医療機関：

【地域包括ケア病床】

埼玉医科大学国際医療センター120名、防衛医科大学病院150名、埼玉医科大学60名、その他医療機関35名

【療養病床】

地域包括ケア病床から、下記のような長期入院が必要となる患者を受入れ。

対象患者：脳血管疾患後遺症・くも膜下出血後遺症の患者、

人工呼吸器患者、悪性腫瘍の末期の疼痛コントロール患者、看取り患者

人数：40名

・埼玉医科大学国際医療センター 30名

・埼玉医科大学病院 10名

8 変更後の病院機能の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
SCU病棟	12床	高度急性期	9.3日	94%
	一般	入院基本料・特定入院料	脳卒中ケアユニット	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
急性期病棟	100床	急性期	14.6日	93%
	一般	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
回復期リハビリテーション	52床	回復期	44.7日	100%

ヨーン病棟	一般	入院基本料・特定入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
地域包括ケア病棟	38 床 (今回の増床 26 床を含む)	回復期	26 日	90%
	療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア病棟入院料 2	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
在宅療養後方支援病棟	19 床 (今回の増床 19 床)	回復期	150 日	100%
	療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
慢性期病床	21 床	慢性期	150 日	100%
	療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
診療科目 変更なし				
患者の受入状況				
地域包括ケア病床 【申請病床数：38 床】				
「前提条件」				
各提携医療機関からの受け入れ患者数予定： 430 名 …①				
想定平均在院期間： 26 日 …②				
「必要病床数」				
対象延べ入院患者数 (①×②)： 11,180 名 …③				
「必要病床数」(③÷365)： 30 床				
※その他透析患者の受け入れとして3~4床の利用を見込む。				
療養病床 【申請病床数：19 床 ※地域包括ケア病棟の後方病床】				
対象患者数： 40 名 …①				
想定平均在院期間： 200 日 …②				
「必要病床数」(②÷365)： 21 床				
医療（介護）連携見込み				
【地域包括ケア病床】				
埼玉医科大学国際医療センター140名、防衛医科大学病院 180名、埼玉医科大学 70名、 その他医療機関 40名、透析患者 70名				
【療養病床】				
地域包括ケア病床から、下記のような長期入院が必要となる患者を受入れ。				
対象患者：脳血管疾患後遺症・くも膜下出血後遺症の患者、 人工呼吸器患者、悪性腫瘍の末期の疼痛コントロール患者、看取り患者 人数：40名				

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 30名
- ・ 埼玉医科大学病院 10名

9 医療従事者

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	17	73	9	2	2	2
看護師	143	19	11	26	26	26
その他	275	25	8	25	25	25
計	435	117	28	53	53	53

人員確保状況・確保策、確保スケジュール

4月1日付で2名の内科医が入職予定。看護師については3月末までに20名が退職するが、4月1日付で新入職員26名が入職予定。コメディカル部についても4月1日付で新入職員が入職予定。

10 その他

今回の報告は、昨年の公募による病床整備計画時にご説明した病床機能の変更を行うものです。

ただし、増床により新たに整備する病床については、機能の変更は行いません。

今回の計画変更により地域包括ケア病棟の病床数は増加しますので、当初の受け入れ患者や患者数については、維持できます。

療養病床については、「透析患者用の療養病床」が19床減少となりますが、それらの患者の一部を一般病床（今回4床増加）や回復期リハビリテーション病床（今回3床増床）、および今回12床増床する地域包括ケア病棟等で受け入れることより、透析患者に対しても当初予定していた変更前の機能維持は可能と考えております。